

「住まう喜びを感じるまち 南魚沼市」を考える

多世代の市民全員が輝き 健康で快適に暮らせ 若者の期待に応えられるまち

【問合せ・申込み】 U&Iときめき課 ☎773-6659

平成30年度の1年間の移住定住促進の取組みの一部を紹介します

- 移住先としての認知度の向上とイメージ定着に向け、首都圏のさまざまなイベントで市のPRを行いました。



移住コンシェルジュ in 渋谷

平成30年12月8日(土)

自然の多いところで暮らしたい人や、気軽にウィンタースポーツを楽しめる生活に興味がある人に、南魚沼での生活の魅力をPRしました。



相談ブースを設置し、個別相談も受け付けています

平成30年7月、12月「にいがたU・Iターンフェア」、平成30年10月、平成31年1月「新潟暮らしセミナー」、平成30年11月「にいがたハッピーライフ潟コンin東京・六本木」で、移住定住の個別相談を行いました。

- (一社) 南魚沼市まちづくり推進機構 (MMDO) と連携した事業

平成30年11月8日(木)「決済の最新動向セミナー」

クレジットカード決済や電子マネーなどのキャッシュレス決済導入率を向上させ、訪日外国人などが市内に訪れやすく生活しやすくするという観点から、市内でキャッシュレス決済に対応できる準備を整える必要性があることを学びました。

このほか、「未来のしごとシリーズ」セミナーや田舎ライフ塾を開催しました。



- 大正大学の地域実習受入

平成30年10月に大正大学地域創生学部の学生13人が2週間滞在し、市内で地域実習を行いました。学生は、研究テーマに沿って市内の企業などを訪れ、見識を深めながら、南魚沼の課題解決のための施策を研究しました。

国際情報高校の「魚沼学」の中間発表や「若者まちづくり会議」に参加するなど、市民との交流も積極的に行いました。



南魚沼を深く知ってもらい、「南魚沼ファン」を増やすことができました。

- 補助金などの利用実績

U & I 促進住宅改修工事支援補助金

利用者 2人

U・Iターン者や市内在住の若者世帯と子育て世帯が自ら居住するために取得した戸建中古住宅の工事費について一部を補助

U・Iターン促進住宅支援事業補助金

利用者 12人

県外から転入し、県内企業などに就業した人に賃貸住宅家賃と契約初期費用の一部を補助

南魚沼市空き家バンク制度、南魚沼市空き家等活用のための家財道具等処分支援事業補助金は利用がありませんでした。